

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年9月27日(2018.9.27)

【公表番号】特表2017-525358(P2017-525358A)

【公表日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2017-034

【出願番号】特願2017-508505(P2017-508505)

【国際特許分類】

C 12 M 1/26 (2006.01)

C 12 M 1/42 (2006.01)

C 12 M 1/00 (2006.01)

G 02 B 21/32 (2006.01)

【F I】

C 12 M 1/26

C 12 M 1/42

C 12 M 1/00 A

G 02 B 21/32

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月14日(2018.8.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下を備えるセルフロッキング光学ピンセットデバイス：

第1の電極及びオンとオフを光学的に切り替え可能である複数の環状及び/または非円形のフォトトランジスタを備える第1の基板であって、前記フォトトランジスタと第1の基板は、前記デバイスへの電圧を印加すると、前記環状または非円形のフォトトランジスタで負の誘電泳動(DEP)力を発生させ、前記フォトトランジスタに光が照射されると、環状または非円形のフォトトランジスタのDEPをオフにするように構成される、第1の基板と、

第2の電極を含む表面であって、前記表面は、前記第1の基板と前記表面との間でチャンバまたはチャネルを画定するように配置され、前記チャンバまたはチャネルは細胞または粒子を含有する流体を受容する及び/または保持するように構成される、表面。

【請求項2】

細胞または粒子の捕捉方法であって、

請求項1に記載のデバイスのチャンバ内に細胞または粒子を誘導し、

前記第1の電極と前記第2の電極との間に電圧を印加して、前記基板を含む環状トランジスタで前記細胞または粒子を捕捉することを含む、方法。